

夢のつばさプロジェクト
2024 年冬キャンプ 学生報告書

【日程】 2024 年 12 月 21 日(土)～22 日(日)

【開催地】公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館
(株) ブリヂストン保養所 奥多摩園(青梅市)
お茶の水女子大学食堂

【参加者】子ども:15 名(高校生 7 名、大学生 5 名、社会人 3 名)
学生スタッフ・OB/OG(社会人を含む):22 名
社会人スタッフ/協力者 6 名

◆2024 冬キャンプについて

今回も皆様より多大なるご支援とご協力を賜り、無事にキャンプを開催することができました。心から感謝申し上げます。

一泊二日と普段よりも限られた時間でしたが、美術館の訪問や宿泊、移動時間などを通して、子どもたちの様々な表情を見ることができました。学校生活や進学先について話を聞く中で会えない期間でも子どもたちが成長していることをそれぞれに感じました。同時に、高校生になって忙しい合間を縫って、変わらずキャンプに参加してくれるということに、夢のつばさが子どもたちにとって大切な居場所であることを再認識しました。今後も子どもたちを支え、成長を見守ることのできる団体でありたいと身が引き締まる思いでした。

なお、今回は土日が12月21日、22日と子どもたちの冬休みの前となってしまう、1泊の宿泊行事にせざるを得ませんでした。ちょうど、夢のつばさプロジェクト学生ボランティア OB/OG が同窓会を企画しましたので、キャンプ終了後、22日お昼からお茶の水女子大学食堂で行われた同窓会に参加し、日曜に参加できた卒業生や学生スタッフ、OG/OB、社会人スタッフたちと合流して楽しい時を過ごしました。

◆スケジュール・概要

	1 日目 (12 月 21 日)	2 日目 (12 月 22 日)
午前	送迎	OB/OG 主催の同窓会に参加 送迎
午後	アーティゾン美術館 自由時間	
	クリスマスディナー	
夜	美術館振り返り	

<1 日目>

◆アーティゾン美術館・振り返り

1日目は、公益財団法人石橋財団が運営するアーティゾン美術館で美術鑑賞を行いました。芸術作品の楽しみ方は大人でも難しいと感じることが多い中、子どもたちは入館すると用意したワークシートを活用しながら皆それぞれ真剣に美術館内を回っていました。立体的な作品を違う角度から覗いてみたり、モネやピカソなどの有名作品に思わず足を止めたりして、子どもそれぞれの楽しみ方を見つけていました。

奥多摩園での楽しいクリスマスディナーの後には、美術鑑賞の振り返りの時間を設け、小グループに分かれて感想をお互いに話し合いました。気に入った作品や印象に残った絵を取り上げて、その絵を見てどう感じたか共有しました。その作品の印象を聞くと「ワクワクする感じ」「グレーみたいな印象だった」などそれぞれに感じ取ったものを率直に話していました。一つ一つの作品だけでなく、展示方法や美術館の構造に言及する子どももいて、その着眼点に驚かされました。最後は小グループ内であがった意見をしっかりまとめて全体に話してくれました。

そして今年も(株)サンリオから届けられたクリスマスプレゼントが全員に渡され、互いに見せ合って喜ぶ姿が見られました。



<2 日目>

◆同窓会

2日目は、夢のつばさプロジェクトの OB/OG 主催の同窓会に参加しました。コロナ禍や様々なライフイベントを経て、お互いになかなか会えていなかったスタッフと久しぶりに再会する場となりました。会の始めに2018年の冬キャンプのスライドショーをみんなで鑑賞すると、思わず感極まって涙する子もいました。何年も会えていなかった時間がまるでなかったかのように、すぐに打ち解け合っていました。近況報告をしたり、今までにスタッフがプレゼントしてきたキャンプのアルバムやバースデーカードなどを見返したりしながら懐かしい思い出話に花を咲かせました。子どもたち一人ひとりに「あなたにとっての夢のつばさプロジェクトとは？」

と聞くと、夢のつばさは「自分らしく居ていい場所」や「家族のような存在」と話してくれました。夢のつばさが子どもたちにとって心の拠り所になっていることが実感できた瞬間でした。これからも子どもたちの「居場所」であり続けられるよう一同力を合わせて活動してまいります。



夢のつばさプロジェクト学生代表 お茶の水女子大学 2 年 五十嵐美咲